

トピックス TOPICS

i-Con ラボを新設しました。

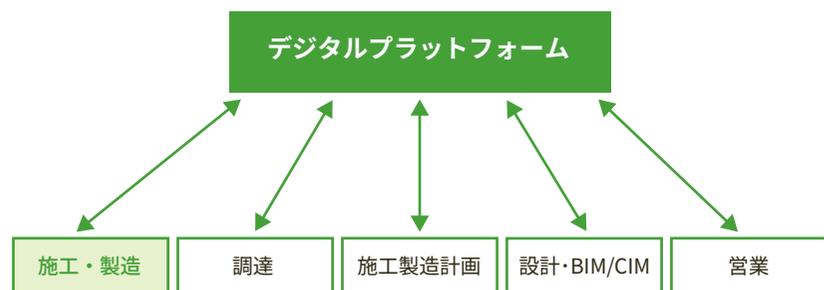
国土交通省は2024年4月、建設現場で働く一人ひとりが生み出す価値を向上し、少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場を実現すべく、「i-Construction2.0」を策定しました。これは建設現場のオートメーション化により2040年度までに建設現場の省人化を少なくとも3割、すなわち生産性を1.5倍向上することを目標とするものです。当社においては、これまで建設現場や工場業務におけるITの活用やバックオフィス支援の推進等により生産性の向上を進めてきました。この度、国土交通省の新たな生産性向上（省人化）の施策「i-Construction 2.0」に対応して更なる生産性向上を図るべく、2025年10月1日付で、当社の技術センターに「i-Con ラボ」を新設しました。i-Con ラボでは、無人化、自動化、遠隔製造・施工、衛星通信などをキーワードとした斬新的な取り組みを約4年間の活動を目標に企画、具現化して、業務への実装を遂行いたします。

● i-Construction 2.0 で実現を目指す社会（イメージ）



出典：i-Construction2.0～建設現場のオートメーション化～令和6年4月 国土交通省

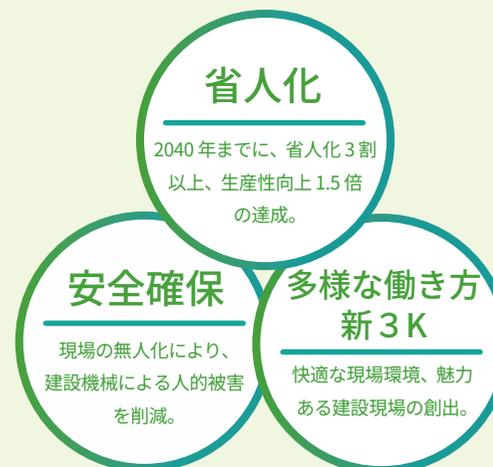
● 工場・製造における部署間の連携イメージ



- ロボット施工
- DX 管理（リモート、自動計測、3D 図面）
- 無人（自動）運転
- 3D プリンターの活用

様々な部門や業務がデジタルプラットフォームを介して情報を共有し、i-Construction2.0の目標達成を目指す。

i-Construction2.0 が実現する目標



国土交通省が目指す 建設現場のオートメーション化	富士ビー・エスが目指す 現場・工場のオートメーション化
施工のオートメーション 複数の建設機械を遠隔操作し、省人化	施工・製造のオートメーション 架設（現場）、製造機械（工場）の自動化や遠隔操作機能の付与による省人化
データ連携のオートメーション 3次元モデルを標準化し、必要数量を自動計算	データ連携のオートメーション ● 施工・製造アーカイブの活用と連携（システム化）による施工管理業務の効率化 ● BIM/CIMをはじめとするICTの活用による積算、設計、施工及び製造計画の効率と高度化
施工管理のオートメーション ロボットによる遠方維持施設等の設備点検、保全	施工管理のオートメーション PC 上部工、PC 建築及び当社工場（プレキャスト製品製造）にマッチしたICT導入による省人化（例：リモートによる出来形検査、自動出来形計測、etc...）